

第22回全国漁港漁場整備技術研究発表会プログラム

I. 研究発表会

日時：令和6年11月7日（木）9:30～17:00

場所：防府市地域交流センター（アスピラート） 音楽ホール
（山口県防府市戎町1-1-28 笑顔満開通り）

1. 開会・挨拶【9:30～9:45】

2. 基調講演【9:45～10:30】

海藻の生態学的特性を活かす藻場創生～藻場造成エリアを中心とする

『海のゆりかごブルーカーボンプロジェクト in センザキ協議会の取組み』～

水産大学校 村瀬 昇

山口県水産研究センター 三好 博之

3. 水産庁報告【10:30～10:55】

能登半島地震 復旧・復興支援

水産庁計画課 粕谷 泉

4. 一般発表

- ① 災害発生時における漁港施設の迅速かつ効率的な復旧に向けたICT活用の有効性 ～能登半島地震における対応事例～ 【10:55～11:20】

一般財団法人水産土木建設技術センター 松本 力

- ② 「ブリ養殖日本一」漁港整備と輸出促進の取組－鹿児島県薄井漁港－

【11:20～11:45】

鹿児島県商工労働水産部 漁港漁場課 藪木 昭彦

- ③ 銚子漁港衛生管理対策施設について

【11:45～12:10】

千葉県漁港課 手嶋 一匡

皆川 大輔

昼休憩【12:10～13:10】

- ④ 元稲府漁港における藻場調査

－北防波堤整備によるブルーカーボン生態系の創出効果の算定に向けて－

【13:10～13:35】

国土交通省北海道開発局網走開発建設部紋別港湾事務所 秋田谷 肇

⑤ ハードとソフトの連携によるブルーカーボン生態系の再生 【13:35～14:10】
一般社団法人漁港漁場新技術研究会沿岸域環境保全専門部会 綿貫 啓

⑥ 特殊バケット及びICTを活用した魚礁ブロックの移設方法 【14:10～14:35】
一般社団法人全日本漁港建設協会会員 株式会社西村組 金井 竜二

⑦ 高感度磁気センサーを活用した鋼材厚さ測定手法の漁港施設水中部点検への
適用について 【14:35～15:00】
国立研究開発法人水産研究・教育機構水産技術研究所 大井 邦昭

休憩【15:00～15:15】

⑧ 長崎漁港における水理模型実験による消波ブロックの安定性検討について
【15:15～15:40】
長崎港湾漁港事務所 中山 幸輔

⑨ 高浜町における海業の取組
ー都市型 BBQ 場実証実験と漁村での若者チャレンジー 【15:40～16:05】
福井県高浜町産業振興課 笹部 孝行
中村 広花

⑩ 「全国の海業の事例について」 【16:05～16:30】
一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所 伊藤 靖

⑪ マナマコ中間育成礁「ナマコのゆりかご」の開発～種苗放流・育成場としての漁
港水域の有効活用に向けて～ 【16:30～16:55】
海洋建設株式会社 技術営業部 穴口 裕司
寒地土木研究所水産土木チーム 森 健二

5. 閉会【16:55～17:00】

II. 現場研修

日時：令和6年11月8日（金）8：30～15：00 予定

場所：山口県漁協防府地方卸売市場、下松市栽培漁業センター、下関漁港